

(地図の運用に関する規約 様式5)地図事業完了報告書 兼 事業費支払請求書に代えて
平成 28 年 1 月 30 日(日学幹事会提出資料)

日本学生オリエンテーリング連盟 御中

地図作成者:(有)ヤマカワオーエンタープライズ
代表取締役 山川克則
090-8041-4673

実施中でありました地図作成新機軸事業「KOLC 大会/塩谷田所」について、以下のように報告致します。(資料:KOLC 大会、完成品地図、但し大会前日午後到大伐採が入りボツにした地図。大会使用地図は刷り直しました)

(参照資料:KOLC 小泉実行委員長提出<様式5>地図利用報告書)にあるように当初予定の範囲すべてを調査することは出来なかった。大会は無事、精度的にも問題なく好評のうちに終了した。

見積もりとの相違 この表は 2015 年 9 月 22 日筑波での前回幹事会提出

1	栃木県塩谷町田所地区	385ha	4500 円/ha	1,732,500	経費(交通・宿泊・原図・企画立案とそれともなう渉外も一部)込
2	調整			-2,500	
3	<参考:毘沙門山>①	218	5504	1,200,000	
	矢板山田②	272	5882	1,600,000	
4	矢板山苗代③	272	60000	1,632,000	基準額が違うのは下見した体感
5	塩谷田所④	385	4500	1,732,500	修正申請(160万までで打ち切る。以下はない。面積は前例より大、ヤブが多い。)で具体的対応
	実際に KOLC 大会で公開した面積	250	6400	現状を 160 万で割った数字	
見積総額				1,730,000	

稼動日数(矢板山苗代 調査で 39 日、塩谷田所;調査で 41 日、調査のみ、その他渉外のお付き合いとか大会準備・当日とかで+8 日見当)

技法的に山苗代との相違、今回のテレインはレーザ測量コンタ原図(DEM)がなかった、山苗代では全域レーザコンタあり。矢板山田はエリアの 4 割位あり、加えて行政発行の基礎図が矢板はコンタ 2m 縮尺 2500 分の 1 のちゃんとした調製品、塩谷町はコンタ 10m、縮尺 1 万分の 1 の非常にアバウトな品で、発行時期もかなり古い。こうした中、ハンディ GPS による踏査を図面に落とした成果図を一番信頼に足る原図とする故、どうしても工程的にワンステップ余計に要する。

これらの困難事項は事前にもある程度予想がついており、状況によって面積縮小の場合もありで、前例に照らすと乗算ではかなり高くなることを、面積縮小の可能性ありとして、前回幹事会では前例どおりの額で申請した。実際には前例より調査ですでに 2 日余分にかかっているが、様式 5 の報告に照らし、本来の目的である、オリエンテーリング環境の総合的充実という観点からもう少し面積を増やして練習用のバリエーションを増やし充実を図るのが良いとこちらでは判断する。地図規約第 11 条第 2 項に定める通り、無償残業を行い、それを様式 7 で報告し、年度末の 3/31 をもって、様式 5「地図事業完了報告書 兼 事業費支払請求書」を発行したいので、了承をお願いします。(具体的な工期は、春インカレ納品後～)

尚、修正した成果の具体的なお披露目として、3 月 26 日か 27 日に公開の O-Event として実施します。

第五弾については、粉をかけている団体はありますが、まだ正式立候補までには至っていません。色々模索中。